

福 井 県 医 師 会

だより

第689号 平成30年(2018)11月



Circulation

福井市 平野 治和

表紙写真説明：Circulation

福井市 平野 治和

私の4.5畳のアトリエには冷暖房設備がない。今年の猛暑ではさすがに、描けなかった。秋は涼しく過ごしやすい。風車のような輪転するイメージを描いてみた。

Instagram (My Page ; #hirano_ha) を利用しているが、褒め言葉の半数は絵文字である。英語の場合「So beautiful」「Love this one」「Fascinate」「Lovely」「Great」「Really cool」「Dazzling」「Awesome」「Yeah」「Super」「Yes」などいろいろあり、「Your works have a wonderful intensity about them」「You amaze me !」と褒められ、「Oh God !」というものまであって、嬉し楽し。

醫 縫 録

小浜医師会と杉田玄白

小浜医師会長 一 瀬 亨



平成30年5月の小浜医師会定時総会及び定時理事会において、吉井正雄前会長の後任として小浜医師会会長を拝命いたしました。浅学菲才の身でありながら責任のある立場となりましたが、理事や顧問の先生方の御協力を得て何とか半年間過ぎてまいりました。

小浜医師会は、昭和22年11月に小浜町医師会として設立され、市政施行後は小浜市医師会となりました。平成18年度からは大飯郡医師会と合併し、今の「小浜医師会」という名称に変わりました。当医師会員は、小浜市、おおい町、高浜町、若狭町内の旧上中町の病院や診療所の医師で構成され、若狭地方の広い地域をカバーしています。医師会活動としては、年2回の総会、特定健診、乳幼児健診、各種癌検診、予防接種、園医・学校医、休日当番医、介護認定審査会、健康講座への協力、産業医活動などです。福井県原子力防災総合訓練では、安定ヨウ素剤配布訓練を行い、私は大飯原子力防災センター緊急時医療本部に出務しました。今後、高齢者人口は急増し、「医療と介護の強い連携」が必要になります。かかりつけ医による「在宅医療」、かかりつけ医と病院との役割分担、連携の推進について、地域の実情に合った体制を「医療構想調整会議」で話し合っていきたいと思っております。

1774年（人の中ながめて調べた解体新書）に「解体新書」を刊行した杉田玄白は、若狭国小浜藩医でした。2017年は、杉田玄白の没後200年にあたり、小浜市でも記念式典が行われ、酒井シズ先生による「解体新書誕生物語」と題した講演会が開催されました。今年は養老孟司先生による「杉田玄白から見る好奇心の壁」と題した講演会と、食文化館で「杉田玄白料理コンテスト」が開催され、私も審査員として参加しました。

杉田玄白は、生来虚弱の体質で、結婚したのも「ターヘルアナトミア」を翻訳中の41歳と晩婚でしたが、妻・登恵との間に一男三女、後妻・伊與との間にも一男三女を得ることができました。晩年に至っても、雨の日も風の日も、往診に歩き、数え

で85歳の長寿を全うしています。杉田玄白は、健康長寿であったことの秘密は、養生にあったと語っています。古希の前年、養生の概要を「養生七不可」として記しました。一、昨日の非は恨悔すべからず。一、明日の是は慮念すべからず。一、飲と食とは度を過すべからず。一、正物に非ざれば苟も食すべからず。一、事なき時は薬を服すべからず。一、壮実を頼んで房を過すべからず。一、動作を勤めて安を好むべからず。の七カ条です。「クヨクヨしない」から入り、「体をよく動かす」で終わる今日でも立派に通用する養生法といえます。

杉田玄白は晩年、好んで「九幸」の雅号を使用していますが、「九幸」とは、「一に泰平に生まれたること。二に都下に長じたること。三に貴賤に交わりたること。四に長寿を保ちたること。五に有禄を食んだること。六にいまだ貧を全くせざること。七に四海に名たること。八に子孫の多きこと。九に老いてますます壮なること」の意味だそうです。

玄白の絶筆は、「医事不如自然（医事は自然にしかず）八十五翁九幸老人書」です。杉田玄白記念公立小浜病院の玄白コーナーで筆蹟を見ることができますが、力強い筆づかいで書かれています。戒名は「九幸院仁誉義真玄白居士」、栄閑院にあるお墓には「九幸杉田先生之墓」と刻まれています。「九幸」を味わった杉田玄白は、いつの時代においても理想的な医師像といえます。今後も小浜藩医杉田玄白を誇りに思い、顕彰し続けることは、小浜医師会、小浜市の大きな使命と考えています。

小浜市では平成14年度より、「食と医療」「食と健康増進」「食育と地域活動」に関して進歩的な研究を行っている方を「杉田玄白賞」として表彰しています。会員の皆さんで、いろいろな取り組みを実践されている先生方も多いと思われまますので、ぜひ応募していただけたらうれしく思います。